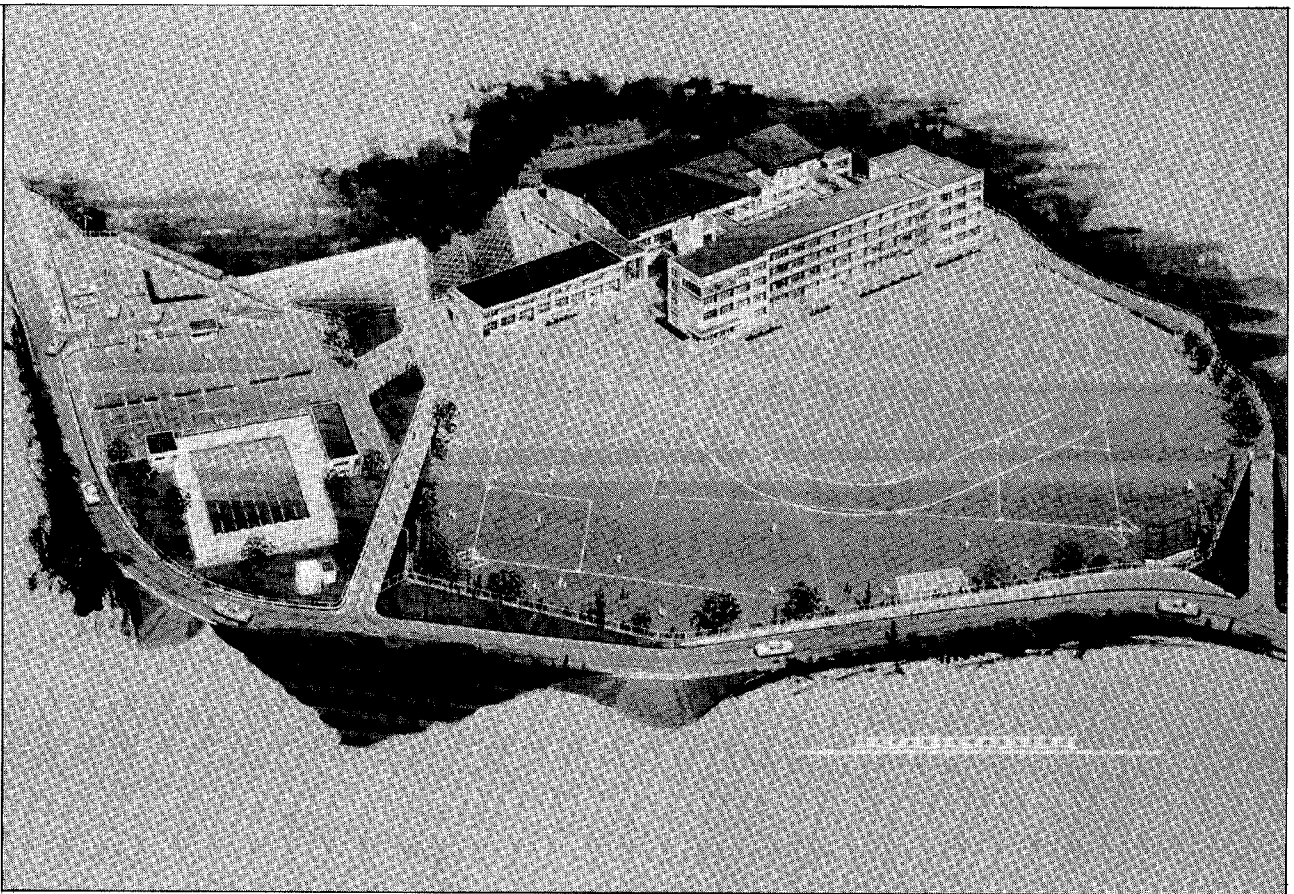


広報

こさた '82 4

特集号

発行・幸田町役場 愛知県額田郡幸田町大字菱池字黒方11番地
編集・企画課 ☎2-1111 (有)2458 印刷・岡田印刷所



▲新設中学校完成予想図

幸田町民憲章

わたくしたちは、心ゆたかな住みよいまちづくりをめざし、ここに町民憲章を定めます。

一、緑豊かに、水清らかに、みんなで美しいまちをつくりましょう。

一、ありがとう、いつも笑顔で親切の輪を広げましょう。

一、活気と希望と夢にみちた、若い力を育てましょう。

一、スポーツに親しみ、心身を鍛え、健康なまちをつくりましょう。

一、豊かな知識と教養を高め、文化の向上に努めましょう。

昭和五十七年一月十四日制定

昭和57年度当初予算の概要

総額84億5,100万円

＝一般会計 55億2,850万円＝
前年度比36%の伸び

会計別予算額 (前年度比較)

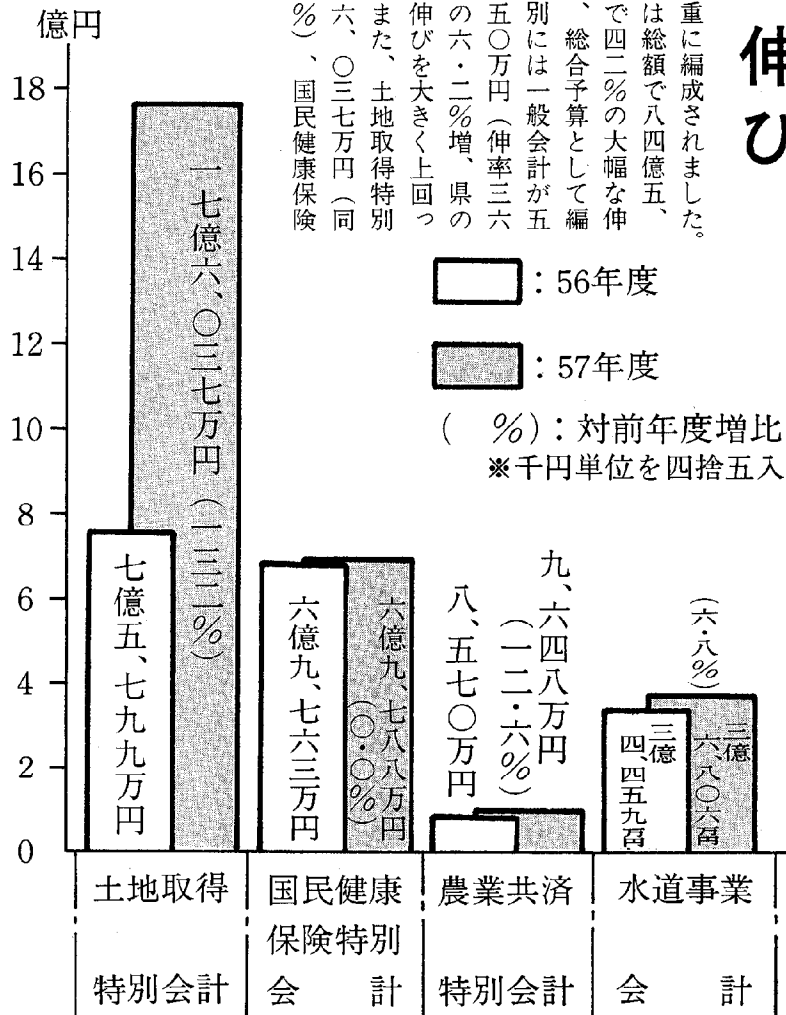
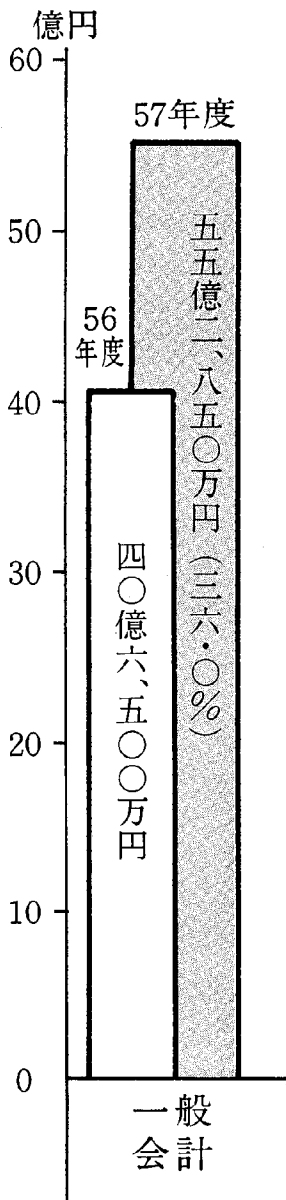
予算全体で

42%の伸び

昭和五十七年幸田町議会第一回定例会は、三月一日に招集され、会期を三月二六日までの一六日間と定めたあと、昭和五十七年度幸田町一般会計予算、五億二、八五〇万円を含む、総額八四億五、一〇〇万円の予算案など、二五の議案が慎重に審議され、可決されました。
昭和五十七年度当初予算は、内外の厳しい財政事情の内にも、各種広聴活動を細部にわたり検討し、将来に夢を託した大型事

業を含め慎重に編成されました。予算規模は総額で八四億五、一〇〇万円で四二%の大幅な伸びを見込み、総合予算として編成し、会計別には一般会計が五億二、八五〇万円(伸率三六%)で、国の六・二%増、県の四・六%の伸びを大きく上回っています。また、土地取得特別会計一七億六、〇三七万円(同一三二・二%)、国民健康保険

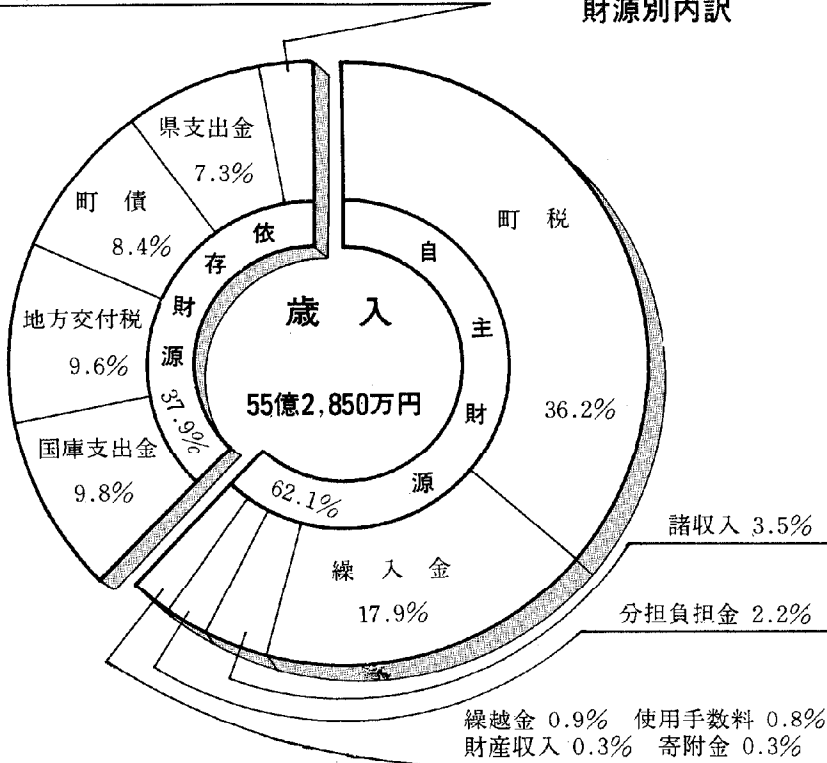
特別会計六億九、七八八万円(同六・八%)と、それぞれ(〇%)、農業共済特別会計九、前年度を上回って編成されました。水道事業会計三億六、八〇六万円(同六・八%)と、それぞれ



□ : 56年度
■ : 57年度
(%) : 対前年度増比
※千円単位を四捨五入

自動車取得税交付金 1.3% 地方譲与税 1.0%
娯楽施設利用税交付金 0.5% 他 0.0%

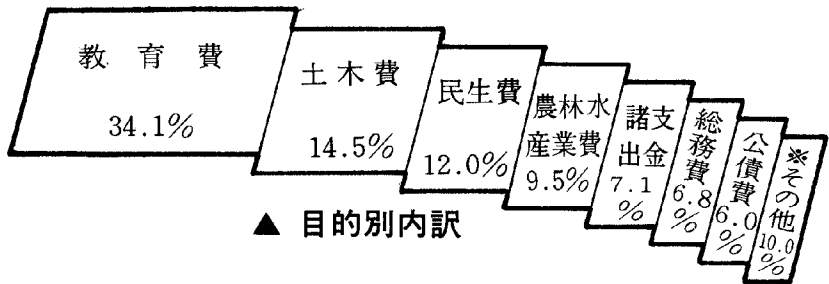
【歳入】 財源別内訳



一般会計概要

対前年度比で二六・〇%の伸び率を示した一般会計約五五億円の概要は、歳入において一九・六%増を見込んだ税収の好調さに加え、新設中学校関連の二億五千万円の国庫支出金の増、大型事業のための町債三億七千万円、繰入金九億四千万円の増額によるものであります。

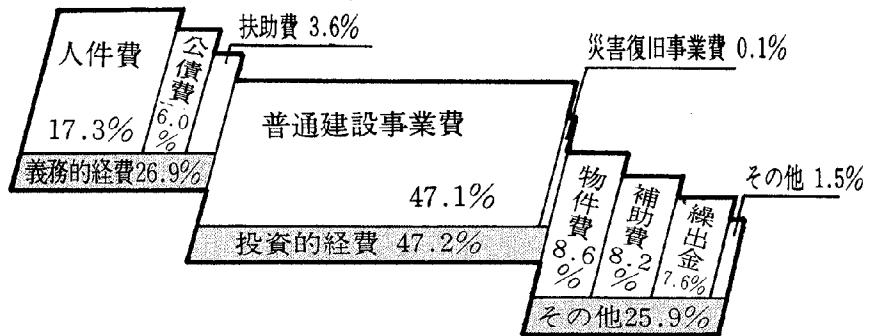
歳出については、具体的には町長の「施政方針と予算の概要」にありますが、主な事業は新設



中学校関連事業、テニスコート設置事業（教育）、公営住宅建設工事（土木）、新農業構造改善事業、若がり農園整備（農林水産）、都市公園整備（総務・土木等）があります。

内容的には、これらの臨時的事業を除けば、前年度を下回る緊縮型予算といえ、特に経常的事業については本年度の社会資

▼ 性質別内訳



本の形成に夢を託し町民のご理解を得つつ、総意として編成したものであります。

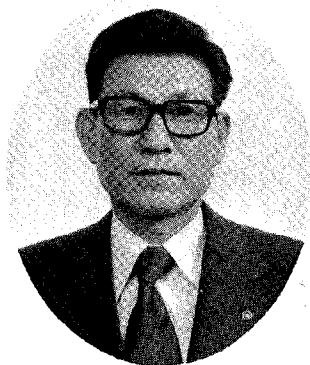
※その他内訳 議会費一・五%、衛生費三・四%、労働費〇・六%、商工費一・一%、消費費二・九%、災害復旧費〇・一%、予備費〇・四%。

財政用語

- ▼ 自主財源 町が自主的に収入するもので、地方税の外に負担金、使用料手数料、財産収入、寄附金などがあります。
- ▼ 依存財源 自主財源に対する区分で、国や県の意志決定に基づき収入されるもので、国庫の支出金、地方交付税、地方債などが主なものです。
- ▼ 義務的経費 前者は歳入の区分ですが、これは歳出の区分の仕方、支出が義務付けられ、自由に節約できない経費で、一般的には、人件費、扶助費、公債費とされています。
- ▼ 投資的経費 支出の効果が資本形成にむけられ、施設などが将来に残るもので普通建設事業費、災害復旧事業費です。
- ▼ その他 歳出の内、前記二経費の外に区分されるもので、物件費、維持補修費、補助費、他会計などへの繰入金、および将来のための基金への積立金などがあります。

昭和57年度

施政方針と予算の大要



幸田町長
磯部光雄

昭和五六年度においては、新設中学校の敷地造成と、幸田都市公園の造成工事に着工することが出来、また永年の懸案でありました役場庁舎の用地も決定することが出来ました。

更に、国際障害者年に当り、心身障害者小規模授産施設も完成し、自力更生と集会の場所が確保されました。農業振興面では、カントリーエレベーターも完成し、年とともに発展する幸田のまちづくりの基盤が、更に前進できましたことは、議会を始めとする町民の皆さんのご理解ご協力のたまものと感謝申し上げる次第であります。

幸田町の人口は、今や二万六、四〇〇人を超え、毎年概ね六〇〇人の人口が増加しております。それゆえ新旧の住民が、より心のふれあいを高めながら、よき風習、伝統を發展させ、一層住みよいふるさとづくりを進めることが、必要であります。

町勢発展に伴う、義務教育施設や体育文化施設の建設整備と、住みよいまちづくりの為の下水道、市街化区域の整備等、社会資本の充実が急務であり、併せて新庁舎の建設等、財政需要は余りにも巨額なものがあります。加えて、内外の情勢はますます厳しく、国・県における緊縮

予算や経済界の動向は、町の行財政にも深刻な影響を与えつつありますが、総合計画の実施計画を基に、計画的にこれら事業の推進に全力を傾けるとともに、新設中学校校舎の建設、幸田都市公園の整備を実施し、新庁舎用地造成は是非早期着手したいと思えます。

加えて、本年度から新農業構造改善事業も着工となり、例年になく大型事業が集中し、誠に厳しい財政運営となりましたが、この程制定の町民憲章を町勢発展の為、町民の精神的よりどころとし、心の豊かさや町民の連帯感、誇りあるふるさとづくりの

ため心をついにし、英知を結集して難局を克服していきたいと思えます。

今この幸田町を含め、三河地方に東海道新幹線三河駅(仮称)の設置運動が大きく盛り上がり、その成り行きが注目されております。幸田町は、昭和三四年新幹線の用地買収協力以来二〇数年、常にこの運動の先駆となり、最も精力的に運動を進めてまいったわけでありますが、今その成否が決するときに迎えております。地理的条件を軸に町民の総意を結集し、隣接市町と協調し、町勢一〇〇年の発展に最善の努力を致したいと思えます。

予算編成方針と

概要

昭和五七年度の予算編成にあたっては、前記の考えを踏まえながら五六年度中における町議会一般質問、各区の住民参加集会、各種団体の要望等を十分検討し、厳しい財政事情のなかではありますが、細部にも配慮いたし編成したつもりであります。

昭和五七年度の予算規模は、一般会計五五億二、八五〇万円、前年度に比し三六%の大幅な増加でありまして、国の六・三%、県予算四・六%を大きく上回っておりますが、これは昭和五七年度に建設しなければならぬ新設中学校建設費一四億二、七四五万円、庁舎用地取得費繰出金三億八、〇〇〇万円、横落町営住宅改築費二億三五万円を計上したものであり、これを差引きますと、昨年をやや下回る緊縮型予算となっております。

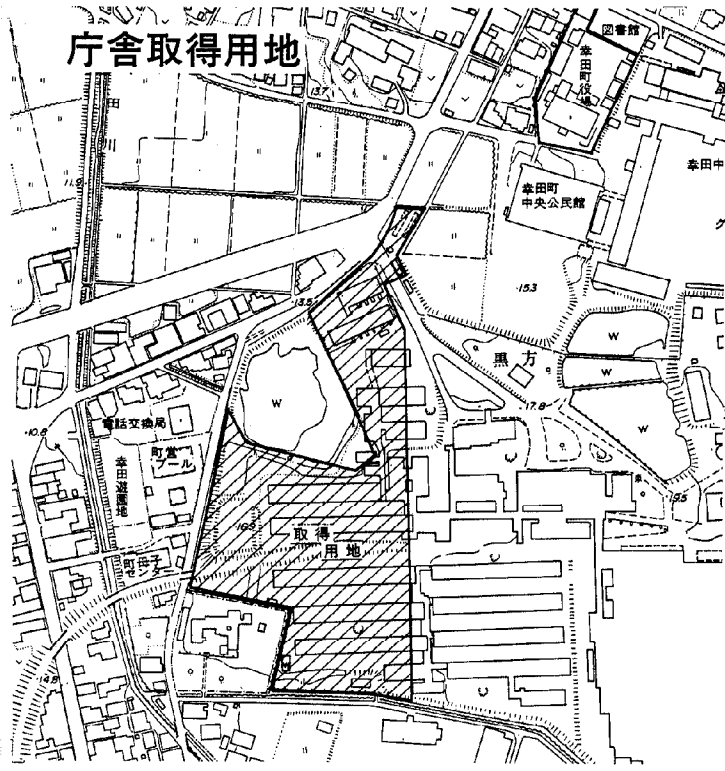
特別会計

また、特別会計において国民健康保険特別会計は、六億九、七八八万円が昨年とほぼ同額であり、国民健康保険税率は現状においては、改訂をしなくてよいと見ております。農業共済特別会計は九、六四七万円一二・六％の増加、水道事業特別会計は三億六、八〇六万円で六・一％の増であります。一般会計より三、五〇〇万円の繰り入れ

また、特別会計において国民健康保険特別会計は、六億九、七八八万円が昨年とほぼ同額であり、国民健康保険税率は現状においては、改訂をしなくてよいと見ております。農業共済特別会計は九、六四七万円一二・六％の増加、水道事業特別会計は三億六、八〇六万円で六・一％の増であります。一般会計より三、五〇〇万円の繰り入れ

を行い、水道料金については隣接市町の料金の均衡を考え、据え置くこととしました。

土地取得特別会計は一七億六、〇三六万円、前年比一三二・二％の伸びであります。これは庁舎建設用地取得費および造成費等のため、大幅な増加となっており、一般・特別会計合わせて総額八四億五、一二九万円です。



歳入

町税の伸びに期待 公共料金は抑制 寄附金は軽減

ここで一般会計予算を中心に、その内容のあらましを申し上げます。まず歳入について町税の伸びに期待し、公共料金については昨年に引き続き抑制に努め、寄附金についても地元負担の軽減に努力しました。

町税、地方交付税、地方譲与税等の一般財源は三二億七、〇〇〇万円で、歳入予算の五九・二％を占めており、町税の伸びも五六年度実績からは順調であります。町民の努力の結晶でありますから、課税には特に公平、適正を期したいと思います。保育料については、運営経費の増嵩のため、保護者の適正な負担をお願いしたいわけですが、町費を昨年の一億一、九八八万円から一億三、一八二万円に増額いたし、極力保護者負担の抑制に努めました。前年比七％増の負担をお願いすることと致しました。小中学校給食費についても諸

経費の値上り等の為、やむを得ずそれぞれ一食当り一〇円、約六・二％の負担増をお願いすることといたしました。

次に国・県の支出金については九億四、五二二万円、その主なもののうち新規は、中学校建設費二億四、一〇七万円、町営住宅代替七、六〇〇万円、新農業構造改善事業六、〇六一万円です。

土地改良事業、産業振興関係等においては、その受入れ体制を十分整備し、計画的に国県の補助事業の導入に、関係者とともに努力したいと思います。

歳出

将来を展望し 三大事業に 全力を傾注

一、三七五万円二六・五％で、前年比二億一、三二七万円一七・七％の増となっております。このうち四億二、〇〇〇万円が繰り出し金です。

一方目的別では、教育費一八億八、四五六万円は対前年比一六八・一％の増であり、民生費、衛生費は一〇・四％、六・五％の伸び率で福祉の増進、健康づくりの為努力致しました。土木費の伸び二八・八％は町営住宅建替と、新設中学校関連道路の為であります。

これらの予算の執行に当たっては、極力、経費の節減効率化を図っていく所存であります。

重点施策

昭和五七年度における施策は、事業を重点に、町民の方々と昭和六〇年度を目標とした町の 住みよいまちづくりを推進する総合計画を踏まえ、将来展望の ために、次の施策を重点に行い、新設中学校建設、幸田都市公園整備、庁舎用地造成の三大

一、人間性豊かなまちづくりのため

新設中学校の建設と

幸田都市公園（地区文化広場）の推進

二、健やかなまちづくりのため

スポーツの振興と予防医療の充実

三、幸せのための社会福祉の充実のため

老人、母子、障害者、児童福祉の充実

四、安全できれいな

住みよいまちづくりのため

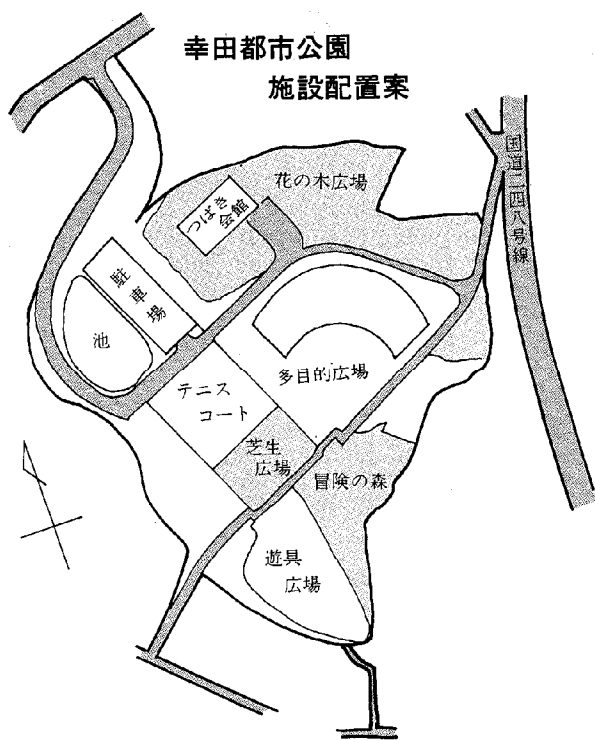
交通安全、防犯、生活環境の整備

五、豊かで活力あるまちづくりのため

土地基盤整備と産業の振興

六、新しい計画的なまちづくりのため

市街化区域の整備、街路の促進



人間性豊かなまちづくり

新設中学校の建設と 幸田都市公園の推進 (地区文化広場)

まず第一の、人間性豊かなまちづくりの為の教育施設の整備充実については、何よりも新設中学校の建設が急務であります。昭和五八年四月開校のため、本年度中にどうしても校舎と体育館の建設を完了するため、一四億二、七四五万円を計上致しました。

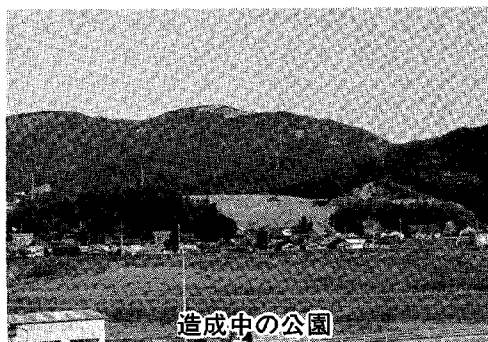
また、本年度中に深溝小学校等の運動場拡張用地取得の目的をつけ、そして、現中学校の危険校舎、特別教室についての整備計画を樹てたいと思います。幸田都市公園整備については、昭和五七年度に県と一体となって地区文化広場を造成し、その中心施設として婦人、青年の研

修の会館を建設し、併せて少年達の社会体育施設整備のため四、二四六万円を計上しました。

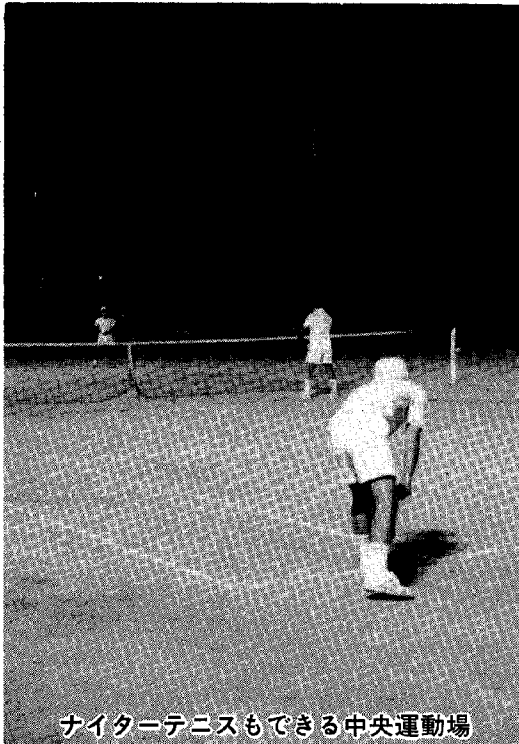
義務教育費については、自分達の住む幸田の歴史や地理等の理解を深めるため、副読本の改訂に三五七万円を計上し、地区公民館等社会教育施設については、各種学級講座等の開設に力を注ぎ、また各地区におけるコミュニティ活動費として二二三万円を計上し、一層の推進を図ってまいりたいと思います。

なお、文化活動の一層の発展のため文化協会の活動費補助の増額、教育文化講演の充実、婦人会、青年会組織の拡充強化に努力する一方、須美郷土史の助成等の予算を計上しました。

なお、私立幼稚園への補助金は五一五万円を計上しました。



造成中の公園



ナイターテニスもできる中央運動場

健やかなまちづくり

スポーツの振興と 予防医療の充実

第二の、健やかなまちづくりのためのスポーツ振興であります。若者には希望を、老人には健康を、一般には生活を豊かにするため、町民こぞって活力ある郷土づくりを目指す「町民総スポーツ運動」は、コミュニティ活動と相まって、年々盛んとなり地区、職場に定着してまいりました。

本年は、地区文化広場にテニスコートと子供用小運動場を、勤労者体育センターにもテニスコートを造るため二、五七五万円を計上しました。また屋内体育施設については、中央小学校、勤労者体育センターに加え、早く新設中学校の体育館を建設したいと思えます。また、本年一月に完成した、三河ハイツの健

康管理棟の町民利用も増進し、屋内スポーツの振興もより盛んにしたいと考えております。社会体育の指導充実については、体育協会の充実、体育指導員の増員、地区スポーツ委員活動の充実と共に、地区スポーツ大会と婦人会活動としての各種スポーツの奨励を始め、各種団体、各職域におけるスポーツの発展と、親子でスポーツを楽しむファミリースポーツの振興等、九二〇万円を予算計上しました。また、町民こぞって参加する町民大運動会、新年を飾るマラソン大会、親子で参加する歩け運動等を、更に盛りあげていきたいと思えます。

次に健康づくり推進については、予防対策費二、〇〇七万円（前年一、七二七万円）を計上、昨年から実施したガン対策のミニドック検診を始め、乳ガン検診、子宮ガン検診に加え、本年は更に肺ガン検診を加えたガン対策は、五一二万円を計上しました。

救急医療対策としては二三〇万円を計上し、また、母子健康センターを軸として、母子の健康管理診断等一、四七九万円を計上し、老人検診については老人福祉センターにおける検診を充実、予防対策のため保健婦の

増員、看護婦の充実等体制の整備強化を図ります。更に、環境衛生費については六七五万円（前年三七一万円）を計上し、市街地における雑草対策を始め、昨年に引き続き先祖を敬い、感謝する気風を醸成するため既設公園墓地を整備し、拡充する工事に対し整備費補助金を計上しました。

幸せのための 社会福祉

老人、母子、障害者、 児童福祉の充実

第三の、幸せのための社会福祉関係の民生費は、総額六億六、三五〇万円で一〇・四％の伸び、六、二六〇万円の増であります。我が国の高齢者人口は八〇年代にはいり、急激に増加しております。これらの方々が、健康で生きがいのある老後を送られるためには、町民が老人を敬い、

大切に育てるとともに、老人福祉センターを中心とした健康管理と陶芸、民謡等の趣味とスポーツを奨励する生きがい対策費は、本年から始める高齢者能力活用推進事業の、高齢者に永年の経歴を生かし、社会にも引き続き貢献して頂くため、

(次のページへ)



母子健康センターでは各種の検診が



老人福祉センターと授産所

(前のページから)
めの子算を含め一、一五五万円を予定しました。

老人福祉センターを中心にした老人健康対策費は、一億二、七〇〇万円、このうち医療扶助費一億一、五九三万円であり、本年から、ねたきり老人入浴事業を予定しましたが、この事業費四八万円を含め在宅ねたきり対策費は、四〇五万円であります。

次に、心身障害者対策費については、自立と参加を目標とした通所授産所を四月から開所する為に二八三万円、車いすの購入費補助五〇万円を新規計上し、

扶助費を含め二、二五七万円、福祉の充実を図る一方、公共機関を始めとした町内企業に働きかけ、雇用の拡大にも努力したいと思ひます。

次に、児童福祉については、保育園における乳児保育と延長保育を昨年より実施しましたが、その経験をもとに、一層よりよい保育を目指したいと思ひます。保育事業費は乳児一四四万円、延長三〇〇万円を計上し、総額三億一、一七五万円が昨年からの九〇〇万円の増となっております。

また、子ども会の育成補助の増額を図り、自主的活動を基調として仲間づくりと責任感、協調性を育てることに努力したいと思ひます。その為、ちびっ子広場六二〇万円、住民広場五一九万円、四か所の造成を行います。これら児童福祉関係費は、児童手当四、一七五万円を含め、八、五二三万円を計上しました。

安全できれいな
住みよいまちづくり

交通安全、防犯、
生活環境の整備

第四の、安全できれいな住みよいまちづくりであります。

みんなが交通事故をなくそうを念願に、交通安全対策を更に進めたいと思ひます。昨年は、

全小学校区に交通安全少年団を組織し、老人用安全タスキ等交通安全対策を進めてきましたが、本年は更にこの少年団の運営指導に努力するとともに、交通指導員の増員等、対策費に四八〇万円を計上するとともに、土木費においても通学通園道路整備、ガードレール等安全施設の整備に三、五四五万円の事業費を計上しました。

次に青少年を非行から守り、犯罪のない町づくりのため防犯灯設置費補助を含め、防犯活動推進費三六四万円を計上しましたが、近年の校内暴力、非行少年の低年齢化は誠に憂えるものがあります。二一世紀をなう青少年を家庭、学校地域一体と

なつて非行、不良化から守るため「よいことをほめ、悪いことを叱ろう」の運動を強力に、きめ細かに推進したいと思ひます。

「資源を大切に町を美しくす」運動をみんなで推進するため、粗大ゴミ収集回数を増やし、運搬処理を二〇〇万円で委託する予算を新規計上し、廃品回収事業は空かん回収資金二七万円、ごみかご設置費三六万円を新たに、回収運動は奨励費八二万円に増額する等、空きかん空びん対策等には特に力を入れた次第であり、簡易焼却炉の設置は引き続き助成し、ごみ焼却費六〇二万円、不燃物処理費二、五〇〇万円等、環境保全のための事業費は四、三〇〇万円を計上しました。

また、省エネを推進するため、昨年引き続き太陽熱温水器の設置補助三五〇万円を計上しました。



里営師ほ場整備

家庭排水と浄化槽については、点検、機能保全等を徹底し、し尿汲取り業務についても、一層適正な指導をしていきたいと思ひますが、快適な生活環境保持のためには、流域下水道の早期実現が急務でありますので、関係市町とともに、これらの推進に努力したいと思ひます。

また、都市下水路の整備については、本年七、四三〇万円を計上し、前田川を始め六か所の整備を予定しております。排水路生活道路路面については、農村モデル事業で排水路四か所、二、〇〇〇万円、緊急防災事業による排水路一、〇〇〇万円、



川 美 多 田

生活用道路整備では農村モデル
三路線三、三七八万円、土木事
業で舗装側溝併せて六、〇〇〇
万円、道路修繕二、二四〇万円
計上しており、特に道路修繕に
ついては、主として親切行政に
より実施し環境整備に努力する
考えであります。

次に災害のないまちづくりに
ついては、河川の水質保全と併
せ河川改修費二、六〇〇万円、
河川愛護には作業費補助一八〇
万円に、新たに主要河川草刈り
賃金三〇万円を、急傾斜対策工
事、たん水防除事業は引き続き
一億七、四〇〇万円で実施しま
すが、根本的には、広田川の改

修を基に、柳川を始めとする各
河川の改修が必要であり、その
改修促進のため、関係地区のご
理解ご協力をお願いするもので
あります。

なお、災害、火災から町民の
生命と財産を守るため、消防の
充実と地域防災組織の一層の整
備を推進するため、消防費につ
いては一億五、七九六万円、昨
年比七・七%、一、一三六万円
を増額計上しました。
これらは防火水槽、消火栓等
の施設整備と署員二名の増員を
行ったためであります。

**豊かで活力ある
まちづくり**

土地基盤の整備と

産業振興

第五の、豊かで活力あるまち
づくりであります。

そのための土地基盤整備につ

いては、農村モデル事業による
ほ場整備四か所六・五〇、稲作
転換と関連単独ほ場整備二か所
七・八〇、新農構事業によるほ
場整備三・六〇併せて七か所一
七・九〇、事業費約二億二、〇
〇〇万円を実施し、矢作南部農
地造成事業一億円、たん水防除
事業一億七、五〇〇万円、一般農
道一億五〇〇万円、老朽溜池工
事三、二五〇万円、計四億一、
二五〇万円は県営で実施し、そ
のうち町費五、四七五万円を計
上し、単県土地改良事業は二二
地区五、一七〇万円、うち町費
一、六二八万円の予定で推進い
たします。

特に、矢作農業用水南部幹線
工事の進捗に併せて、用水利用
と稲作転換の推進、近代農業へ
の基盤作りのため、県営ほ場整

備の実施が必要な為、計画調査
費として一、六五一万円を予算
化計上しました。

農業振興については、米の生
産調整は前年目標と同じ一九四
〇であります。水田再編対策と
農地利用増進対策事業に積極的
に取組み、この補助制度によつ
て、いちご、なす、筆柿を中心
に、また大豆、麦の集団栽培を
定着させなければなりません。
その為、特に本年度から全町を
挙げて互助制度を確立し、推進
を図るため五二二万円を計上し
ました。これらの補助を含め稲
転対策費は一、八六二万円であ
ります。

なお、本年度から新農業構造
事業に着手し、五七年度事業と
して逆川にハウス団地六、九〇
〇平方メートル、西深溝ほ場整備三・
六〇の補助額六、六四〇万円を
予定しました。
若返り農園事業は、五六年に

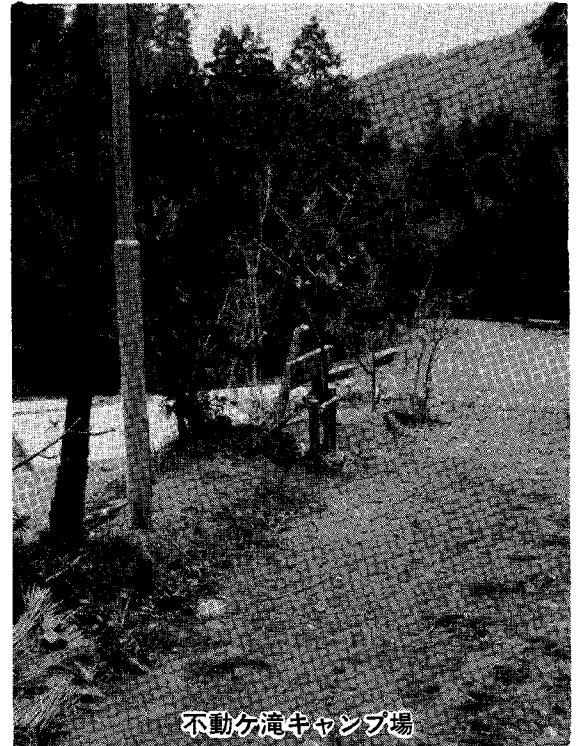
引き続き二、〇〇〇万円を計上
実施し、荒廃した田畑の若返り
を図るとともに、本年新たに町
民小菜園設置事業に対し、一〇
〇万円を計上しました。イネミ
ズゾウ虫防除にも二八二万円を
計上しました。

果樹振興対策として、みかん
園転換事業二四三万円を計上し
ましたが、特に筆柿については
出荷量の増加に伴い、消費拡大
と選果機更新が必要であり、関
係団体と協同して対処したいと
思います。

林業費は七、九〇一万円であ
り、特に松くい虫の防除に三、
四四七万円を計上した外、造林
(次のページへ)



ハウスいちご電照



不動ヶ滝キャンプ場

(前のページから)

補助六三〇万円、特用林産物生産奨励事業一四四万円、地区緑化三三一万円を、林道開設は須美南山線一、〇七〇万円、改良工事等一、四四〇万円の予算により森林のもつ公益性を重視し、ふるさとの山をより美しい緑の山にするとともに、内地木材の利用拡大と林地の生産性を高める努力をしたいと思ひます。

次に商業の振興については、「買物は町内で」の運動を商工会を中心に進め、町内利用を高め販売額の向上を図る一方、町内企業との連帯性を強める努力をするとともに、幸田駅前再開発構想は新幹線駅問題と関連して推進し、三ヶ根駅前集積化、道路改良を進めたいと思ひます。これら商工振興費は三、二三五万円で前年比五二四万円の増であります。

観光事業については不動ヶ滝周辺の整備、大井池観光用便所、永野公園整備補修を実施し、町民の憩とレクリエーションの場所に資するため二、一〇五万円を計上しました。

更に企業については、第一、第二工業団地とも軌道にのり、工場従業員も充実してまいっており、これら企業が町および地域と十分な連帯感の上に、町民の雇用安定拡大と所得増進とともに、企業が安定した生産活動に励むことの出来るよう連絡を緊密にし、職域スポーツ奨励のため勤労者体育センターの高度利用とともに企業も町の行事、運動会等に積極的に参加されることを期待するものであります。

なお、幸田町は、東西三河の交通の要衝としての地の利から企業の進出立地が予測されるので、町の総合計画と、土地利用計画を十分勘案し更には関係住民の協議を得、慎重に対処し併せて町内中小企業の団地造成の推進を、前向きに研究したいと考え、推進費一〇〇万円を計上しました。

次に町内企業、勤労者、通勤者のための労働費については、本町内企業の活発化に伴い勤労者も増加し、町税に占める給与所得の比重も年とともに増大し

ていることに鑑み、本年は勤労者体育センター運営管理を始め、新就職者の激励会を始めとする労務対策事業、通勤対策として駅西駐車場の適正管理と勤労者住宅資金融資事業に加え、勤労者生活資金事業を新たに発足させました。これら労働費の総額は三、三五〇万円で前年比二五・三%、六七六万円を増額計上しました。

なお、公営住宅については横落町営住宅の改築を行います。



坂崎工業団地

新しい計画的なまちづくり

市街地の区画整備と街路の整備

第六に、新しいまちづくりのための市街化区域の整備であります。幸田町は中京都市圏に含まれる近年、人口並びに産業の進出が著しく文字どおり都市化が進んでおり、都市計画のねらいとする農林業との健全な調和、健康で文化的な都市生活および機能的な都市活動の確保を急がねばなりません。

都市計画の実現は、適正な制限と土地の合理的な利用、加えて社会ニーズに対応した都市施設等、諸施策を効率的に運用することであり、特に新年度予算にあたっては、まさに「都市計画の母」とも呼ばれる土地区画整理事業の推進や、公園および都市下水道等根幹施設整備をすすめる、都市問題の解決を図るべく内容といたしました。



駅西駐車場

都市の抜本的整備のために

土地区画整理事業費 三、八〇〇万円

(三ヶ根南、里前、芦谷、幸田駅西地区 外)

機能的な都市交通のために

都市計画街路、区画路の整備費 四、二〇〇万円

(野場横落線、広野山添線、幸田敦線)

衛生的な街づくりのために

公共下水道事業費 五〇〇万円

(矢作川流域下水道建設負担)

安全な都市環境のために

都市下水路整備費 七、六〇〇万円

(田多美川、前田川第一・第二、中々川)

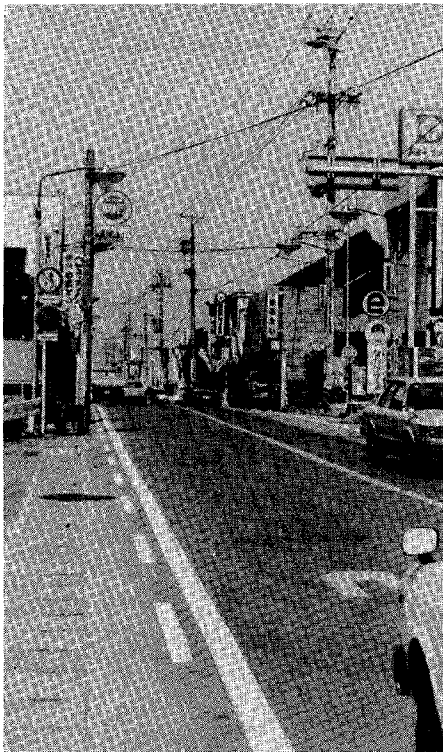
住民の健康と文化向上のために

都市公園整備費 四、八〇〇万円

(幸田公園)

なお、大草山添、横落長根野一六分の地区については、農住型土地利用転換計画の研究を引き続き進め、その他の地区については、地区市街化区域整備促進委員会を中心に研究を進め、

坂崎北部地区を始めとする見直し候補地については、今後継続的に区画整理を前提とした土地利用計画の策定を進めたいと思います。また本年度新規に緑の確保と地震対策の為、新たに生



垣設置事業に対する補助制度を発足させました。

一方は場整備済および既成集落地区については、その区画を生かし、出来る限り事業費の削減を図りつつ、マスターに沿った道路等の整備を促進するため、市街化区域整備促進委員会を中心に、関係者の協力により促進を図る所存であります。

また、幸田駅前地区の商業地区については公共施行区画整理を前提に、各種助成措置を取り入れ実施する方向で、一層の具体化を図って行きたいと思えます。

ローマは一日にしてはなりません、計画的に根気強く取り組んで、住みよい新しいまちづくりを進めていきたいと思います。

特別

会計

土地取得特別会計

特別会計の土地取得特別会計は、一七億六、〇三六万円、関係項目のなかでほとんどふれましたが、本年度事業として新設中学校用地造成費一億五、五〇〇万円、庁舎八億六、四九五万円、一般先行取得六、〇〇〇万円を計上すること致しました。

水道事業会計

ますので、本年はミニドック検査等に対する助成を始めとして、予防医療にも一層意を注いでいきたいと思えます。



国民健康保険

特別会計

国保会計は、六億九、七八八万円の前年ではほぼ同額であります。本町における国保加入者の平均療養費は、一人当り約八万六、四〇〇円で、西三河五町に比しなお低い額であります。これは、老人福祉センターの老人検診を始めとする予防医療が、効果を挙げている結果と思われ

水道事業会計は、三億六、八〇六万円あります。本町の加入者六、二三七戸、九七%の普及率は、県下でも極めて上位で防疫上、また町民の健康保持にも大きく貢献しているところでもあります。本年六月から県水が一・五%値上となるため、隣接市町では料金の値上が予定されていますが、本町水道においては、経費の節減に努め、一般会計からは三、五〇〇万円の補助を行い、水道使用料の順調な収入を期待し水道料金の改定はもう一年行わないこととし、受益者の負担増を抑えることといたしましたので一層のご協力を願います。

農業特別会計(省略)

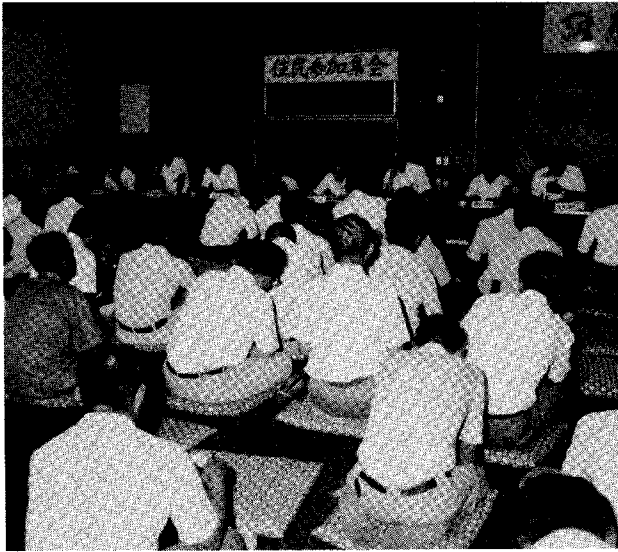
結

び

あなたの意見を 町政に

以上、昭和五七年度の予算の
大要と施政方針について述べま
したが、本年度は、三大事業の
ため、極めて財政運営が困難で
ありますだけに、徹底して経費
の節減に努め、事業完遂は町民
の理解と協力が何よりも必要で

ありますので、動く町政教室、
町政懇談会、町政モニター、「広
報こうた」の一層の充実を図つ
てまいりたいと思えます。町民
参加による町政、あなたの意見
を率直にお寄せくださることを
切望します。



例年、施政方
針とともに町民
行動テーマを提
唱してまいりま
したが、本年は
町民憲章が制定
されたので、町
民一致してこの
町民憲章のもと
に、その目標達
成の行動を積極
的に行い、その
ための町民の協
力を期待するも
のであります。
昭和五七年度
事業の推進にあ

幸田町民憲章

わたくしたちは、心ゆたかな住みよ
いまちづくりをめざし、ここに町民憲
章を定めます。

- 一、緑豊かに、水清らかに、みんなで
美しいまちをつくりましょう。
- 一、ありがたう、いつも笑顔で親切の
輪を広げましょう。
- 一、活気と希望と夢にみちた、若い力
を育てましょう。
- 一、スポーツに親しみ、心身を鍛え、
健康なまちをつくりましょう。
- 一、豊かな知識と教養を高め、文化の
向上に努めましょう。

つては、その担い手である役場
職員の資質向上と、活気ある職
場づくりのため、連帯感、親睦
を深めるとともに、健康管理並
びに福利厚生面にも意を注ぐと
ともに、実効ある職員研修を通
じ、職員の意識高揚を図り、職
員一丸となって町民の期待に応
える所存であります。
最後に国・県道、県管理河川
砂防河川等の改修改良等は、町
民の生活、児童の通学、通園、
生産活動に直結した願望であり、
特に蒲郡競艇による深溝地区の
国・県道の改良は目下の急務で
あります。昭和五六年度県にお
いては、国道二四八号線を始め

県道で九路線六億五、一〇〇万
円、河川関係で一〇か所二億三、
五五〇万円、急傾斜二、六〇〇
万円合計九億一、二五〇万円の
事業を実施頂きましたが、国の
公共事業予算は本年一段と厳し
いので、それぞれの関係地区住
民の理解と協力のもと、議会関
係者等とともに精力的に関係機
関に働きかけ、全力を挙げて整
備促進にまい進する所存であり
ます。



編
集

後
記

「広報こうた」では、町の施
策や行事をお知らせするととも
に、皆さんの声を広報に反映さ
せるよう努力しています。

今回の特集号は、三月定例議
会の昌頭（三月一日）に、町
長が表明した「施政方針と予算
大要」を全文掲載し、今年度の
幸田の指針を紹介しました。

新年度を迎え、一層皆さんに
読まれやすい、親しまれやすい
広報づくりを力をつけたいと思
いますので、皆さんも、広報に
対するご意見を、どしどしお寄
せいただくようお願いします。

